

2022年7月15日付

新理事長 紹介 (2022年5月18日就任)



協同組合帯広卸売センター理事長に就任

高田 晃一さん(63)

団地内の企業などで1964年に設立。現在は流通団地(同西18、19南1)にも範囲を広げる。組合員はピーク時に44社を数えたが、現在は29社。勉強会などで事業の質の向上や親睦を図ってきた。自身は大正時代から食問屋

### 異業種のメリッ トを生かす

58年の歴史を持つ協同組合帯広卸売センターの第9代理事長に就任した。変化する世界情勢や急速に進む田舎など卸売業には逆境の時代だが、「異業種で取り組みを情報共有できる組合のメリッ トをできる限り生かし、活動していく」と前を向く。同組合は開広団地(帯広市西7、8南5~8)の開設に伴い、

を営む高田菊次郎商店の4代目社長。2002年から会社の経営を担っており、「問屋にとつて最も大事なことは客に安心して商品を届けること。先の先を讀むことで安定供給につながる」と強調、コロナ禍でも安定した経営に努める。

SDGs(持続可能な開発目標)の推進を組合の目標に掲げ

る。「異業種の組合だから達成できるものは必ずある」とし、新しい環境への対応に意欲をみせる。

趣味はスポーツ観戦。大学でアメリカンフットボール、高校でサッカーに打ち込んだ体育会系。(文・写真、吉原慧)

たかだ・こういち 1958年、帯広市生まれ。帯広小、帯広第一中、帯広北高、中央大学卒。85年、高田菊次郎商店入社。2002年、同社社長。10年に同組合理事を務め、12年から副理事長。妻と2人暮らし。子どもは結婚し、6人の孫がいる。孫の成長を見守ることが一番の楽しみ。